

『電算室運用業務』における質疑について

ページ	行	項 目	質 問 内 容	回答内容
1	25	2.業務にあたっての運用条件2.1	作業内容を確認したところ、毎日定期的に作業が発生するようですので、常駐して対応する必要があるという理解で良いか。	そうにご理解願います。
2	25	3 業務仕様 3.2 電算室各システム運用作業 3.2.1 電算室内プリンタ印刷業務	通常の運用では、原則印刷日当日中に印刷を完了することが基本と思われるが、府及び各システム運用業者で用意される印刷データの提供が遅れ、印刷開始時間が遅れた場合、府担当課及びシステム運用業者と印刷日程を調整することは可能か。	業務スケジュールの都合により、印刷開始時間が遅れた場合でも、当日中の印刷完了をお願いする場合があります。
3	22	電算室付帯設備に係る運用管理 全庁停電対応	全庁停電は性質上、休日に実施されるものと考えられますが、対応は休日の早朝に行う必要があるという理解で良いか。	例年の実績では、休日に実施し、以下のとおり1日につき2回作業が発生しており、同様の時間帯で作業が必要となる見込みです。 午前：7:30頃から8:30 午後：16:00から17:00 なお、府本庁の停電計画に合わせ作業が発生するため、2日間以上の作業が発生する可能性があります。
4	4	電算室内プリンタ印刷業務	「期間率100%未満リスト」「差額明細書」が（別紙）京都府電算室作業一覧・スケジュール表に存在しますが、出力帳票一覧にありません。 印刷対象として含めるという理解で良いか。 また、電算室内プリンタ印刷業務と同時にデータ伝送業務を行う場合には、1名が電算室内プリンタ印刷業務を、他の1名がデータ伝送業務を担当する等、複数人体制での対応が必要と考えられるが、その理解で良いか。	そうにご理解願います。
5	27	データ伝送業務（3）随時処理 端末障害対応	伝送用端末が故障した場合、速やかに予備端末に切り替え、伝送ソフトをセットアップし伝送できる状態まで復旧させる作業も含むという理解で良いか。	そうにご理解願います。 なお、故障時に備え、通常利用する端末に加え予備端末を配備している旨申し添えます。
6	27	データ伝送業務（3）随時処理 端末障害対応	伝送作業にてデータ内容が原因の伝送エラーが発生した場合、各システム運用業者及び伝送先と連携し調査を行い、原因を特定する作業も含むという理解で良いか。	ご認識のとおり、伝送作業において不具合が発生した場合、各関係者と連携し、障害切り分け作業について、対応を実施してください。
7	7	穿孔（データ入力）業務	今後、システムの新規構築等により、穿孔業務の追加があった場合についても実施することありますが、費用についての調整は可能か。	本業務仕様書に示されていない業務を追加することとなった場合は、その内容が軽微で、変更を要しないと判断されるものを除き、調整の上、費用及び業務内容の変更のための変更契約を締結する想定としております。
8	3	磁気媒体外部保管業務	外部保管業者が来庁する時間帯にデータ伝送業務を行う必要がある場合、2名以上の体制を取り、1名がデータ伝送業務、他の1名が磁気媒体外部保管業務を担当するという理解で良いか。	そうにご理解願います。